

## 令和7年度から新廃棄物処理施設が完成するまでの廃棄物処理について

・令和7年度から新廃棄物処理施設が完成するまで、ごみを「全量外部搬出」する。

### 1 9月27日の組合議会全員協議会後の動き

#### (1) 構成市議会

##### ① 掛川市議会 全員協議会（10月19日開催）

結果：「全量外部搬出」了承

<主な意見等>

- ・現施設がなぜここまで至ったのかについて検証し、その説明を地元や議会に行う必要がある。
- ・お金だけではなく、SDGsや環境のこともしっかり考えて、外部搬出も新施設の建設も行ってもらいたい。

##### ② 菊川市議会 全員協議会（10月20日開催）

結果：「全量外部搬出」の方針について確認し、多数の議員の理解を得た。

<主な意見等>

- ・新施設建設計画は一部でも早められるか。→令和12年4月に稼働予定で進めている。
- ・外部搬出費用が示され、修理費用との比較もされている。安全、安心な施設を作ってほしい。

#### (2) 地元地区

##### ① 満水区説明会（10月10日開催）

<主な意見等>

- ・現施設の状況がこのような原因を検証すべき。
- ・外部搬出に多額の予算が必要なので、生ごみの水切り等、ごみ減量施策による歳出削減とふるさと納税の活用等による歳入増加策の両方を進めるべき。
- ・概算費用の額は確実なのか、保証できるか。  
→ 見積書等に基づき積算しており、現時点で示せる数字としては最も正確な金額であると考えているが、保証はできない。
- ・外部搬出に伴いトラックは増加するか。環境対策は大丈夫か。  
→ 10t車に積み替えて搬出する予定だが、日量10数台なので大きな影響があるとは考えていない。近隣自治体との協議により直接搬入ができれば、現在よりも車両は減少する可能性もある。

##### ② 東山口地区説明会（10月17日開催）

<主な意見等>

- ・施設の稼働から20年も経たないうちにトラブルが多発し、ダメになることは普通はありえない。
- ・そもそも現施設の方式を選んだのが間違いではないか。目論見が甘かったのではなか。  
→ 当時はダイオキシン対策、最終処分場の延命、再資源化率の高さ等でキルン式ガス化熔融炉を採用したが、現状を鑑みれば目論見が甘かったと言わざるを得ない。
- ・新施設は今と同じようなことにならないよう運転管理してもらいたい。
- ・外部搬出量を減らすために、ごみ減量対策を考えるべき。
- ・今後の施設建設等の発注については、公平性を保ち、しっかりやってもらいたい。

③ 西方地区説明会（10月23日開催）

<主な意見等>

- ・外部搬出によって、市民のごみの持ち込みに変更はあるのか。  
→ 変更はないが、引き続きさらなるごみ減量に御協力いただきたい。
- ・ごみ処理を安定的かつ安価に行うため、新施設を建設せず、ずっと外部搬出を継続したらどうか。  
→ 今回は新施設が完成するまでの間ということで、御協力いただける搬出先を探し、お願いしている。
- ・現施設を運転管理しているタクマとはどのような会社か。  
→ 東証に上場している国内大手のプラントメーカーである。

(3) 搬出先

① 県内自治体

3～4自治体と搬出に向けての詳細協議中

② 民間事業者

県内自治体の補完として、3～4社と協議中

2 外部搬出に係る今後必要な事項

- (1) 各搬出先との事前協議（法令に基づく）、契約手続き、現地確認等
- (2) 運搬事業者との詳細協議
- (3) 積替施設の詳細設計
- (4) 施設内安全対策の検討（動線確認等）